



6月議会では、「ヤミ金融対策の強化を求める意見書」が全会派一致で決議され、国会でも「ヤミ金規制法案」が与野党一致で提出されました。（裏面資料）ヤミ金をめぐる事件が深刻化している中、この大垣市では「ヤミ金」等で、現に困っている人の生活を立て直す活動も行われています。7年前から「サラ金・クレジット」そして今では「ヤミ金」の被害者救済活動をしている「西濃れんげの会」をレポートしました。

サラ金被害の原因は

生活苦とサラ金業者の過剰貸し付け

サラ金被害の中には、パチンコ・競馬等のギャンブルが原因の場合もありますが、多くは病氣・リストラ・不況によるボーナスカット等が原因で、住宅ローンの支払いや生活費に困り借り入れしています。また、サラ金業者に5万円の借り入れを申し込んだら10万・20万なら融資すると言われ、無理矢理過大な融資を押しつけられたケースもあります。

雪だるま式に増える借金

もともとギリギリの生活をしている時に、10万・20万とまとまったお金が入るとついつい浪費をしてしまいます。そして借入金返済のための借り増しや他社からの借入に走りく間に借入金が100万、200万と増え、支払い不能に陥ってしまいます。

ヤミ金融規制法が今国会で成立

と報道されていますが・・・

1万円から2万円を貸し付け、一週間後に3万から5万円の返済を要求する「ヤミ金融業者」がいま横行しています。5万円を借入し3万3千円ずつ17回の返済を強要された人もいます。これらの業者は本人のみならず、親兄弟、職場、近所へ深夜まで電話をかけ違法な取立をしています。ヤミ金融業者に借りてしまったら、業者の言いに支払わずまず相談することが大切です。



一人で悩まずまず相談を！

将来を悲観し大量の睡眠薬を飲み自殺を図った人が、死にきれずあちこちに電話してようやく「西濃れんげの会」に辿りつきました。同会の援助で破産の手続きも終わり、今は睡眠薬の後遺症に悩まされていますが、元気に生活をしている人がいます。一人で悩まずにまず相談して解決することが大切です。

「西濃れんげの会」は市民グループによるボランティア組織です。最近では市役所、警察等からの紹介で相談に訪れる方も多いのですが、会場費も含めて全部自前で賄っているとのこと。

【サラ金・ヤミ金でお困りの方は以下に相談を！】

☆岐阜県弁護士会相談センター (Tel.058-265-0020)

☆市役所の無料法律相談 (Tel.81-4111)

☆西濃れんげの会 (ボランティア組織 Tel.92-3307)

・毎月の第2・第4日曜日の午前10時から大垣北地区センターで被害者の交流会と相談活動を行っています。



スポットOgaki、日本共産党に対するご意見・ご質問等はこちらへ

TEL 81-1383 <http://www.sasada-toyoko.jp/> e-mail sanbal@sasada-toyoko.jp